



鳥取市教育センターだより

第5号 平成26年9月9日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

チャンスを逃さず・・・

夏休みも終わり、各学校では子どもたちの元気な姿があふれていることと思います。今年の夏は、台風や前線による集中豪雨や土砂災害などの自然災害が多く発生し、全国各地で多くの方が被災され、今も避難生活をしておられる方も多いと思います。心よりお見舞い申し上げます。

さて、鳥取市教育センターも本年度で設立8年目を迎えました。設立当初に植樹された玄関横の「欒樹（かいのき）」も、ふと目をやるとかなりの高さに成長しています。日々の成長はわずかなものですが、幾多の風雪にも耐えながらしっかりと大地に根を張り、年月を重ねる中で大きな伸びとなっていることを改めて感じさせられます。この「欒樹」は皆さんもご存じのように、中国原産の漆樹（ウルシ）科の落葉喬木で、「欒」は、日本語の書体「楷書」の語源になっており、「つよく まっすぐ」「てほん」の意を表しています。日本最初の庶民学校「閑谷学校」（岡山県）の欒樹は有名で、孔子ゆかりの地に植えられていることから「学問の木」とも呼ばれています。

ところで各学校では、前期後半から後期前半にかけて、学習発表会等みんなで創り上げる行事が続きます。こういった行事への取り組みのさまざまな場面で、子どもたちは成長した姿を見せてくれます。そのような機会に心から称賛や喜びの声をかけることによって、自己肯定感が高まり、その後の学習意欲等につながっていくと思います。チャンスを逃さず・その瞬間に・心から気持ちを伝えることを繰り返すことで、子どもたちは大きく成長していくと思います。一年後、二年後、十年後、関わった子どもたちが大きく成長した姿に出会えることを信じて、日々仕事をしている私たちは、本当に幸せなのではないでしょうか。



9月行事予定

9月12日（金）18：00～19：30 先生のための きなんせ！ English World

★9月17日より English World キャラバンとして ALT が 8 小学校に出かけます。



教育支援係より

【第2回生徒指導専任相談員研修会】

8月7日（木）、中学校の生徒指導専任相談員を対象とした研修会を行いました。

教育センター係長から「不登校傾向の生徒に対する相談室での援助」について話を聞いた後、アートセラピーの一つである「コラージュ療法」を活用したカレンダーづくりに取り組みました。この療法は、雑誌や広告などから写真や絵を切り抜き、台紙に貼って一つの作品を作るといふものです。作品を通して不安や問題点を理解するだけでなく、作りながら癒されるという効果があります。ぜひ、相談室だけでなく教室でも取り組んでみてほしいと思います。

最後は、日々の実践について情報交換をすることを通して、専任相談員に求められる役割、先生方や保護者との連携などについて確認し、理解を深めました。各学校においても、専任相談員と連携し、相談室を活用しながら、心に不安を抱えた生徒への効果的な支援を行っていただきたいと思います。



【ひびきセミナー】

夏休み中に小中学校3校で「ひびきセミナー」を実施しました。児童生徒の気になる事例をもとに、エール（鳥取県発達障がい者支援センター）の指導助言をいただきながら、特性を理解し、問題解決に向けて具体的支援策を考えました。このアプローチの仕方をもとに個別の支援計画を作成予定という学校がありましたし、他の事例についてセミナーで学んだ方法で考えていきたいという声も聞かれました。



このセミナーは、先生同士で話し合うことで改善策が広がるというだけでなく、エールの方の助言により、これまでとは違った特性の理解の仕方ができるというメリットがあります。

昨年度、後期に実施された学校もありましたので、気になる事例がありましたら、ぜひ校内研修に利用していただきたいと思います。

研修企画係より

第1回講師研修会

8月19日（火）国府町中央公民館で、第1回小・中学校講師研修会を行いました。

前半のグループ別演習では、事例をもとに学級経営の方策を話し合いました。校種や担当学年等を越えて意見を出し合うことで、参加者は、すぐ実践に生かせる指導のヒントを共有することができました。後半の講義では、学校教育課の指導主事から「児童生徒理解と生徒指導について」の話を聞くことで、演習の内容についてより深く理解するとともに、児童生徒にどう向き合うか自らを振り返る機会になったようです。あと1週間で夏休みが終わる時期だったこともあり、参加者からは、「さっそく実践したい」「早く子どもたちに会いたい」という声がたくさん聞かれました。



第2回学級経営研修会



「お父さん、〇〇君が学習に集中できていないんですよ・・・」

「家でも、いろいろやっとなだけどなあ・・・」

8月29日（金）、第2回学級経営研修会を行いました。今回は、まず「前期末までに取り組みたいこと」を小グループで紹介し合い、後半は児童・担任・保護者の役割を分担した「ロールプレイ」を行い、アドバイスし合うという内容でした。その合間には、お互いの実践や工夫等の情報交換もなされていました。研修後、「児童の気持ちになることができた」「担任としての言葉かけが改めてむずかしいことがわかったが、アドバイスを受けられてよかった」などの感想が聞かれました。



わかる、おもしろい、また学びたくなる授業をめざして

講師研修会でも触れましたが、授業づくりは教育活動の根幹となるべきものです。授業が楽しいことは、児童生徒が夏休みを終えてスムーズに学校生活にもどれることにつながります。この時期に授業のあり方を振り返るとともに、一層の充実のために学校内で切磋琢磨していかれることを期待しています。

<授業づくりのポイント>

- ①本時のねらいを明確にしていますか？ →→→教科等のつけたい力とそのための活動・指導方法
- ②ねらいを達成できる展開になっていますか？→主活動の内容・形態・時間配分、思考を促す主発問
- ③児童生徒の実態を踏まえていますか？ →→→予想される反応に基づいた全体・個別への支援
- ④評価場面を位置づけていますか？ →→→ねらいを達成できたか確かめる活動、肯定的声かけ